

水レター「びわ湖・よど川」

2012. 6【vol. 24】
独立行政法人 水資源機構 関西支社 発行

水レター「びわ湖・よど川」は、水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における水資源機構に関する情報、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を関西管内の関係者（利水者、関係府県、関係市町村及びその他の関係機関）の皆様にご直接配信させていただきます。

目 次

1. 関西管内の気象及び水源状況	1 p
2. 洪水期に向けての貯水位移行(ドローダウン)について	2 p
3. 利根川水系における ホルムアルデヒド検出による水資源機構の対応について	3 p
4. 関西支社からのお知らせ	5 p
(1) 積立金の合同説明会の開催について	
(2) 平成24年度(第1回)水資源機構施設見学会の開催について	
(3) 「水とともに(5月号)」に琵琶湖総合開発事業の記事 連載はじまる!	
5. 『仕事への取り組み方等キャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』	6 p
6. 【報告】平成24年度 関西支社洪水対応演習	6 p
7. 【報告】関西管内の行事について	7 p
(1) 2012マス釣り&猪名川浄化運動大会の実施	
(2) 今年もクラシックカーが比奈知ダムにやって来た	
8. 水源地マラソン紀行(日吉ダム編)	9 p
9. 編集後記	10 p

1. 関西管内の気象および水源状況

気象庁の発表によると、5月の上旬や下旬は、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となることが度々あり、所々で雷雨がありました。

西日本では低気圧や南西からの湿った気流の影響を受けにくかったため、5月の降水量は、かなり少なかった模様です。水資源機構の関西管内各施設で観測している降水量においても、平年値を大きく下回りました。

ちなみに、沖縄・奄美地方では、平年より11日早い4月28日ごろ梅雨入りした模様です。近畿地方では、例年6月上旬に梅雨入りしておりますが、6月前半の天気は、数日の周期で変化し、後半は曇りや雨の日が多い見込みだそうです。今後も気象予報を注視し、施設管理に万全を期して参ります。

水資源機構の関西管内における各ダムの水源状況を下表に示します。

～ 水資源機構(関西管内)の水源状況 ～

平成24年6月5日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	洪水期(6月16日)に目標とする貯水率(%) ^{※3}	降水量(mm) ^{※4※5}	
					(観測値)	(平年値)
高山ダム	120.08	1,841	37.4	28.0	47	144
青蓮寺ダム	273.38	1,577	82.6	80.6	91	134
室生ダム	291.40	960	67.1	57.0	61	139
布目ダム	281.12	1,037	67.3	64.9	40	170
比奈知ダム	293.26	1,015	66.3	61.4	103	150
一庫ダム	138.66	1,610	60.1	49.6	43	158
日吉ダム	179.98	1,810	50.3	44.4	25	140
琵琶湖開発	B.S.L. +6cm ^{※1}	—	—	—	148.1	171
7ダム 合計	—	9,850	60.0%	—	—	—

※1 琵琶湖水位は、6月5日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日～6月15日までの、非洪水期の利水容量で計算しています。

※3 (洪水貯留準備水位の貯水量) / (平常時最高貯水位の貯水量) × 100

※4 雨量について、琵琶湖開発は流域平均雨量、各ダムはダム地点雨量を表示しています。

※5 雨量は、5月1日～31日までの累計値です。

水資源機構の関西管内における各ダムの貯水状況は、関西支社HPの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigenn/suigenn.htm>

2. 洪水期に向けての貯水位移行について - ドローダウン -

関西支社 施設管理課

水資源機構が管理する関西支社管内7ダムでは、毎年6月16日から10月15日までの洪水期に向けて2ヶ月程度かけて非洪水期の平常時最高水位から洪水貯留準備水位まで貯水位を移行（以下「ドローダウン」と言う。）させております。

ドローダウンを実施するにあたり、急激な水位低下は、

- ① 下流河川の流量が大きくなり、河川利用者への危険が生じる。
- ② 貯水池の水温躍層が十分に成長していない段階での放流は、冷水を放流する。

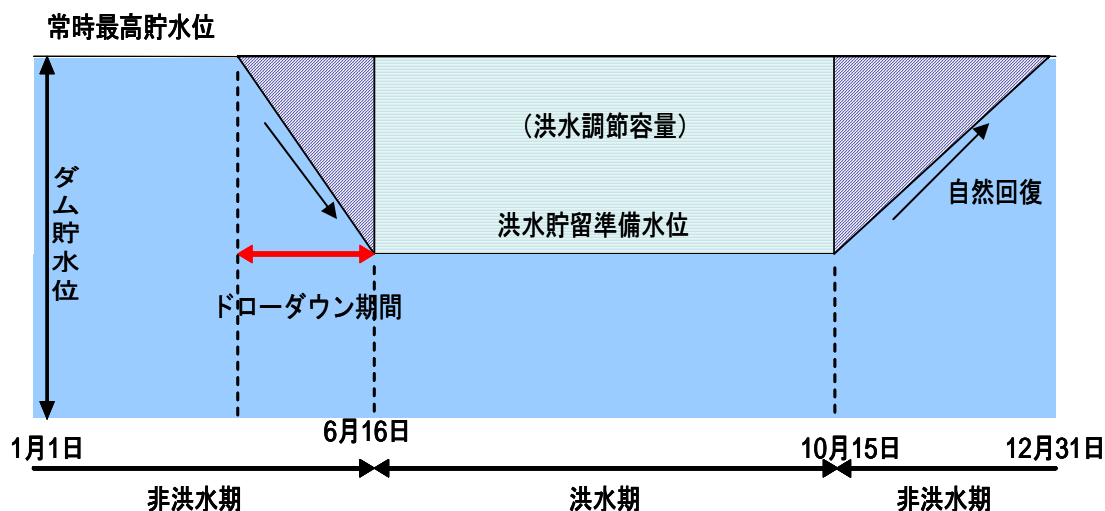
などを引き起こす可能性があるため、緩やかな水位低下を実施しているところです。

洪水期に向けてのドローダウンは、各ダムで4月及び5月から1～2ヶ月間をかけて行うのですが、その時の放流量については、以下の計算式で求められた流量を基本としています。

$$[\text{放流量}] = \frac{[\text{平常時最高貯水位の貯水量}] - [\text{洪水貯留準備水位の貯水量}]}{[\text{ドローダウンに要する期間}]} + [\text{日当たり流入量}]$$

各ダムでは、前述の計算結果に基づきドローダウン計画線を作成し、放流量等の管理を行っております。本年度も、6月16日0時に洪水時貯留準備水位へ貯水位を低下させ洪水期に備えたダム管理を行ってまいります。

貯水位移行「ドローダウン」 イメージ図



3. 利根川水系におけるホルムアルデヒド放出による水資源機構の対応について

埼玉県行田浄水場における水道水の水質基準超過（5月17日）に対して、機構は埼玉県企業局の要請により利根導水で行田浄水場に係る取水停止を行いました。また、国土交通省と連携して、障害の原因となっている有害物質の濃度を薄め、下流河川へ押し流すことを目的として、利根川水系のダムから緊急放流の実施や利根川から荒川へ導水している武蔵水路の取水を停止するなどの措置を講じ、影響の拡大防止に努めました。

国土交通省・関東地方整備局	水資源機構
<p>5月18日(金) 21:40 河川希釈のため渡瀬貯水池から最大放流量20m³/秒緊急放流開始。 23:40 藤原ダムより100m³/s、菌原ダムで240m³/sの緊急放流開始。 23:45 渡瀬遊水池からの放流量を20m³/sから80m³/sに増量。</p>	<p>5月18日(金) 22:10 埼玉県行田浄水場より取水停止の要請有り。 22:25 利根大堰から行田浄水場の取水停止。 23:10 武蔵水路 導水停止操作開始。 ※ 行田浄水場は武蔵水路と同じく利根大堰から取水している。</p>
<p>5月19日(土) 18:00 渡瀬貯水池より68m³/s、菌原ダムより31m³/s、藤原ダムより177m³/sの緊急放流を実施。北千葉導水路より14m³/sの緊急導水を実施。</p>	<p>24:00 武蔵水路 導水停止(完了)。 5月19日(土) 1:30 下久保ダム 緊急放流開始(最大200m³/s)。 5:00 埼玉県行田浄水場より取水再開の要請有り。 5:20 利根大堰から行田浄水場の取水再開。</p>
<p>5月20日(日) 4:00 渡瀬遊水池からの緊急放流を停止、北千葉導水路の緊急導水を停止。また、菌原ダムより発電に必要な量まで、藤原ダムからの放流は100m³/sに減量。 14:00 北千葉導水路から14m³/s、渡瀬遊水池から80m³/sの放流を再開。 23:00 藤原ダムからの放流を260m³/sに増量。</p>	<p>8:30 下久保ダム 緊急放流終了。 22:30 矢木沢ダム 緊急放流開始(最大240m³/s)。 5月20日(日) 5:30 矢木沢ダム 緊急放流終了。</p>
<p>5月22日(火) 17:00 藤原ダムからの放流を100m³/s、渡瀬貯水池からの放流を20m³/sに減量。</p>	<p>5月21日(月) 4:00 矢木沢ダム 緊急放流開始(最大240m³/s)。 5月22日(火) 20:00 矢木沢ダム 緊急放流終了。</p>
<p>5月23日(水) 18:30 北千葉導水路および渡瀬貯水池から放流停止。</p>	<p>5月23日(水) 11:00 矢木沢ダム 緊急放流開始(最大180m³/s)。 22:00 矢木沢ダム 緊急放流終了。</p>
<p>5月24日(木) 15:00 藤原ダム放流停止。</p>	<p>5月24日(木) 09:00 矢木沢ダム 緊急放流開始(最大150m³/s)。 15:00 矢木沢ダム 緊急放流終了。</p>
<p>出典：関東地方整備局、管内事務所のHPより</p>	<p>15:00 武蔵水路 導水操作開始。 5月25日(金) 22:00 武蔵水路 導水再開(15m³/s※)。 ※導水停止前の通常流量</p>

ホルムアルデヒドとは、
①有機混合物の一種で、毒性は強い。②建材や塗料から発生する揮発性の化学物質。建材等から空気中に放出されることがあり、その場合は低濃度でも人体に悪影響を及ぼす。③人体への影響は、粘膜への刺激性を中心とした急性毒性があり、蒸気は呼吸器系、目、喉などの炎症を引き起こす。

利根川・荒川水系 流域図



※武蔵水路は、利根川上流のダム群により開発した都市用水を東京都や埼玉県に導水する施設です。

4. 関西支社からのお知らせ

(1) 積立金の合同説明会の開催について

利水者の皆様を対象にした水資源機構の積立金に関する説明会を下記のとおり、開催させていただきます。

議会等でお忙しいところで恐縮ですが、ご参加のほど、宜しくお願いいたします。

日 時：平成24年6月28日(木) 14:00～

場 所：大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 5階大会議室

(住 所)大阪府中央区大手前1丁目3番49号

(最寄駅)京阪「天満橋」又は大阪市営地下鉄「天満橋」より徒歩5分

又は、JR東西線「大阪城北詰」より徒歩7分

(HPアドレス)<http://www.dawncenter.or.jp/shisetsu/map.html>

(2) 平成24年度(第1回)水資源機構施設見学会の開催について

6月13日(水)および14日(木)に、利水者の皆様方を対象とした施設見学会を高山ダム(京都府相楽郡南山城村)と布目ダム(奈良県奈良市)で実施する予定です。

高山ダムでは、平成10～16年度にかけて貯水池水質保全事業で設置した曝気設備の説明とダムの下流側から堤体を間近に望んでいただきます。また、布目ダムでは、ダムの堤体の中の通廊にお入りいただきまして、職員が日常監視を行っている観測設備を見学する予定としております。

布目ダムは、平成4年から管理を開始して20年という節目を迎えたダムであります。布目ダムは、比較的新しいダムであり、各設備も整備されておりますので、是非一度ご見学ください。

(3) 「水とともに(5月号)」に琵琶湖総合開発事業の記事 連載はじまる!

水資源機構が発行している広報誌『水とともに』の5月号から、作家である高崎哲郎氏の執筆により「湖面の光 湖水の命 〈物語〉世紀の水の大事業～琵琶湖総合開発～」の連載が始まりました。

第1話のタイトルは、「^{プロローグ}〈序章〉「戦場」を乗り越えて ～25年・1兆9000億円の大規模プロジェクト、終幕を迎える～」です。

琵琶湖総合開発事業とは、

国と上下流の府県など関係機関が25年かけて①琵琶湖の水質と自然環境の保全を図り②洪水・渇水被害の軽減③水資源開発④琵琶湖流域の地域開発を実現した約1兆9,000億円の大プロジェクトです。

「水とともに(5月号)」は、

水資源機構HP (<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/pamphlet/kouhoushi/index.html>)に掲載されておりますので、ご覧ください。

5. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』のご紹介

第一次南極越冬隊長などを歴任した西堀榮三郎博士らが選んだ創作ことわざ「西堀かるた」があります。それは、ユーモアと示唆に富み、その面白さと生活に“希望を与え、決心を促し、人生を楽しくする”西堀かるたは近年賛同者が増えています。水資源機構関西支社でも、「西堀かるた」に習い、国民や利水者の皆様からの更なる信頼を得て、より強い組織づくりを図るため、職員一人ひとりの仕事への取り組み方、定時退庁の呼び掛けや心構え等も含めた日頃の業務の指標として、「関西いろはカルタ」を平成23年度に作成いたしました。

今回は、『ち』、『り』、『ぬ』です。



関西管内の事業所で取りまとめた『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』を紹介いたします。

6. 『報告』平成24年度 関西支社洪水対応演習

関西支社 施設管理課

水資源機構では、例年、出水期を迎える前に、大規模な出水を想定して、関係機関への通知及び洪水操作を的確に行うための洪水対応演習を行っています。本年も去る5月14～15日に管内の事務所が一斉に演習を実施いたしました。この演習では、各ダムとも大きな出水により、ダムが満水になることを想定し、なおかつ、ダムからの放流が下流の市街地に浸水被害が生じないように確認しながら操作(シミュレーション)を行いました。また、各関西管内の各ダムについては気象状況から、施設に障害(落雷により電源喪失など)が発生するなどのより困難な状況を想定して演習を実施いたしました。

ダム管理のプロとして、今年も防災には万全を期して参ります。



【関西支社防災本部】
管内各ダムから報告を受ける職員



【布目ダム管理所操作室】
放流警報(マイク放送)を行う職員

7. 関西支社からのお知らせ

(1) 2012マス釣り&猪名川浄化運動大会の実施

一庫ダム管理所 河本慎司

2012マス釣り&猪名川浄化運動大会が平成24年4月29日(日)、一庫ダムの鯉のぼりが天高く舞うもと、猪名川漁業協同組合の主催で行われました。このイベントは平成12年より始まり、今回で13回目を迎え、一庫ダム管理所では、このイベントに開始当初から参加しています。

マス釣り大会は、毎年参加しているベテランの方や初めて釣りをする方など、約40組(約120名)のファミリーが参加しました。事前にマスの成魚約600~700匹が放流されており、初心者の方でも釣れる喜びを感じることが出来るため、参加者の多いイベントです。大会は釣り上げた魚の大きさを競い、優勝者は47cmもの大物を釣り上げていました。また、初心者の方も、釣り専門誌の方の的確なアドバイスにより、いともたやすく釣っており、そのシーンを目にした筆者はうなるばかりでした。「さすが、プロ!!」

釣り大会の後は、参加者全員によるゴミ拾いが行われ、空き缶、ペットボトルなどのゴミを回収し、美しい猪名川・一庫大路次川の環境をより良くしていきたい、という気持ちになりました。



一庫ダムの下流でマス釣りに挑戦



一庫ダムの上空を泳ぐ鯉のぼり



猪名川浄化運動で河川内のゴミを拾う参加者



一庫ダムをバックに記念撮影

(2) 今年もクラシックカーが比奈知ダムにやって来た

木津川ダム総合管理所 比奈知ダム管理所 後藤浩一

近畿地方を舞台とするクラシックカーの春の祭典「La Festa Primavera 2012」が今年も開催され、4月23日に比奈知ダム堤体に多くのクラシックカーがやって来ました。

本年のクラシックカーラリーでは、比奈知ダムがチェックポイントとなっていたため、堤体道路に30台以上のクラシックカーが整然と並び、観戦に訪れた人達は日頃見ることのできない1920～1960年代の名車をじっくり見ることができ、大変喜んでおられました。

クラシックカーラリーには、著名人（境正章さん、近藤真彦さん、鈴木亜久里さん、木内みどりさん、篠塚健次郎さん）も多数出走されておりましたが、前日までの降雨等の影響によりマシントラブル等が発生したということで、実際に比奈知ダムまで来られた著名人は篠塚健次郎さんだけでした。観戦に訪れた方々は、記念写真や色紙へのサインをゲットするため万全の体制を取っておりましたが、著名人の多くがリタイアしてしまったため、非常に残念がっておりました。しかし、比奈知ダムの上空を元気に泳いでいる鯉のぼりを見て本当によかったと感じておられました。

なお、篠塚健次郎さんは大変お優しい方で、疲れておられるにも関わらず記念写真や色紙へのサインを観戦に訪れた方々に快く応じておられ、本当にありがとうございました。



ダムと名車と鯉のぼり見事に調和



篠塚健次郎氏（右側）との記念写真

La Festa Primavera とは、
関東のクラシックカーの秋の祭典、La Festa Autunno が1997年から15年間にわたって毎年開催する中で継続して築きあげてきた、「古いものに敬意を」「いくつになっても心・少年」「イベントに参加するすべての人々と友情の輪を広げる」という3つの基本精神を踏襲し、大会の最も重要な理念とされています。
また、2011年3月11日の大震災を忘れることなく、秋の祭典でお世話になった東日本の被災地へ義援金を募る目的から「がんばろう日本」という副題を掲げた募金活動も継続して実施されています。

8. 日吉ダムマラソン紀行

水源地への感謝の気持ちを込めた水源地マラソンめぐりは、今年もまた続きます。2月の月ヶ瀬梅溪早春マラソン（月ヶ瀬村：高山ダム）、青蓮寺湖駅伝大会（名張市：青蓮寺ダム）3月には淀川国際ハーフマラソン（大阪市・淀川大堰）、4月に日吉ダムマラソン（南丹市：日吉ダム）で年間の前半のレースが終わります。日吉ダムマラソンは前半を締めくくるレースです。今回は日吉ダムマラソンについて報告します。

日吉ダムマラソンは4月22日（日）に行われました。地元の南丹市がダム完成を記念し、今回で15回を数えます。昨年もエントリーしたものの、残念なことに東日本震災の影響により、やむなく中止となってしまいました。眺望の良い日吉ダムまわりを走ること、レース後はスプリングひよしで温泉につかり、レストランでは薬膳料理やダムカレー（関西では唯一？）が食べられることなど、ダム周辺の施設も充実しており毎年参加者の多い大会です。ただ、当日はあいにくの天候です。スタート地点の府民の森では強風が吹きまくり、スタート後に雨が強まるという悪条件のうえ、起伏の多いコース故か、はたまた今週は飲み会が多かったせいかよく分かりませんが、スタートから10kmを過ぎたあたりから、じりじりとペースが落ちます。美しい桜並木のダム湖周を2周し、最後20km地点からゴールまではダム周回道路から府民の森までの登りの急坂でランナーの足を止めます。最後はかろうじて走るものの、すごくペースが落ち、最後の1kmは7分近くのラップでゴールです。苦しいレースが終わりました。疲労が残り、寒さもあって車で着替えていると足がつります。あとからゴールしたかみさんも同じく着替えで足がつっています。体調悪化により、温泉につかることなく、ダムカレーも食べずにレース会場をあとにしました。ハーフマラソン1時間30分台まだまだ遠し、次回は温泉とダムカレーのリベンジです。



日吉ダム天端を走るランナーと歓迎のぼり

（利水者サービス課 ダムを走る男）



これからの出場予定

- ・余呉湖健康マラソン（丹生ダム）
- ・淀川市民マラソン（淀川大堰）
- ・一庫ダムマラソン
- ・布目ダムマラソン

・・・etc



食べ損なったダムカレー

【写真提供 川上ダム建設所 金山氏】

9. 編集後記

5月21日（月）午前7時半、近畿地方の各地で金環日食を見ることができたと思います。近畿で、金環日食を見られるのは、282年ぶりとのことで“世紀の天体ショー”に酔いしれた方も多かったのではないのでしょうか。なかには、世紀の天体ショーを見ながら、プロポーズをされた方も居られたとか。。。

ところによっては、タイミング悪く厚く雲がさしかかって、日食を望めなかった場所もあったようですが、ほとんどの箇所において、日食を望むことができたそうです。



7時32分、奈良県奈良市の布目ダム管理所から減光フィルターを使って金冠日食を撮影！

次回、近畿地方で日食が見られるのは、300年後だそうで、、数世代あとの人々が日食を望めるよう、良い天気であってほしいものです。（なんて、今から心配してもしようがないですね・・・。）

話は変わりますが、情報によると、今年は天体ショーのオンパレードらしいです。まずは、6月4日に“部分月食”を見ることができ、6日には太陽の前を金星が通過し、8月14日には9年ぶりの“金星食”が見られるそうです。（天文に興味のある方なら、当然ご存じの情報でしょうね。）かく言う私は、会社からの帰宅時に夜空を眺めるくらいです。

（利水者サービス課 ちょう長）



7時30分、大阪市此花区にある正蓮寺川利水（高見機場）から金環日食の撮影に成功！！

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。（耳寄りな情報もお待ちしております。）

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp

水資源機構では、平成24年3月16日より、新たな情報提供手段として公式ツイッターを始めました。



水資源機構ツイッターのURLは、

http://twitter.com/jwa_PR

ツイッターを通じ、水資源機構HPに掲載している情報等を発信してまいります。

水資源機構として、これまで以上にタイムリーで広がりのある情報発信に取り組んでいきますので、皆様からのフォローをお待ちしています。是非ご利用下さい。